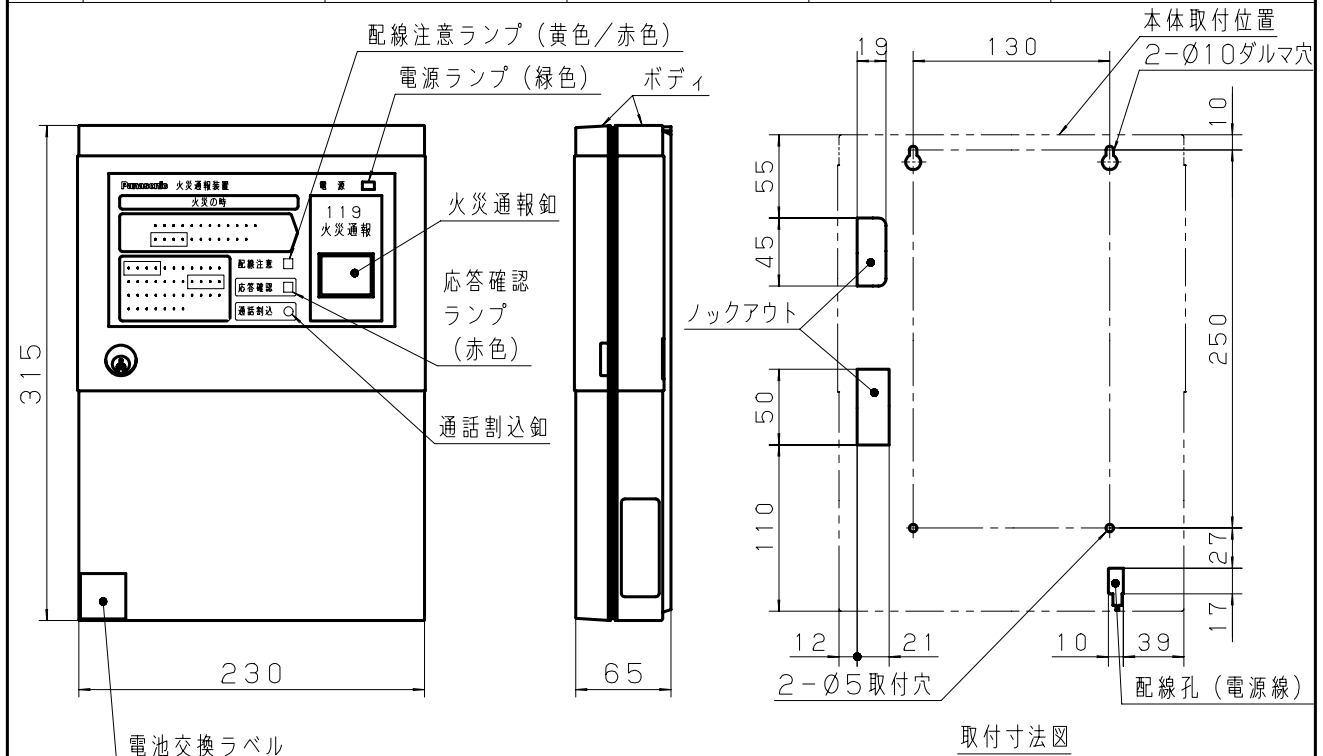
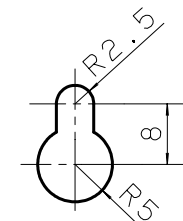


主要部品材質	構成要素	材 料	色 彩	処 理	備 考
	ボディ	ABS樹脂（難燃性）	オイスターグレイ □25-80A (マンセル5Y8/0.5)		□は日本塗料工業会 番号の最新年度記号



取付寸法図



取付ダルマ穴拡大図

型式番号	(財)日本消防設備安全センター 火通-042号	認定番号	(財)電気通信端末機器審査協会基準 A16-0095001	定 格	使用周囲温度	-5℃～+40℃	
	電源電圧	AC100V 50/60Hz	消費電力		最大負荷時: 15VA	適合規格 (電磁放射)	VCCI クラスA
定 格	予備電源	DC12V 800mAh 鉛蓄電池 (当社品番: BGF9902またはBGF990201) (60分経過後10分間の通報動作可能(常温))	外部供給電源	適用回線	接続機器	質量	1.8kg
	外部供給電源	DC12V 300mA					火災通報専用電話機 (BGT1192) なお、3台以上接続する場合には、増設装置が必要となります。 (3~8台 : BGT9318が1台) (9~16台 : BGT9318が2台) ※BGT9305H, BGT9 (Uオーダー品) も接続できます。
	適用回線	一般加入者回線 (アナログ回線) 事業所集団電話回線 (セントレクス) IP電話回線 (ひかり電話等)	適用回線	2ページの適用回線に関する注意事項、IP電話回線のご利用にあたっての注意事項をご確認ください。	その他	通報メッセージは、設置先ごとに録音 (音声ROMパック) します。録音内容を発注時にご連絡ください。	
	回線種別	DP (10/20PPS) / PB	通線種別	DP (10/20PPS) / PB	音声ROMパックは品番BGF93をご指定ください。 品番BGF91, BGF92は接続できません。		
	通線種別	DP (10/20PPS) / PB	通線種別	DP (10/20PPS) / PB			
	通線種別	DP (10/20PPS) / PB	通線種別	DP (10/20PPS) / PB			
	通線種別	DP (10/20PPS) / PB	通線種別	DP (10/20PPS) / PB			
	通線種別	DP (10/20PPS) / PB	通線種別	DP (10/20PPS) / PB			
商品仕様書図	品名	火災通報装置 (応答確認ランプ付) (音声ROMパック別)			品番	BGF1181 (1/4)	
単位: mm 第三角法	作成	2016年 10月 20日	改	5	パナソニック株式会社		

■ 適用回線に関する注意事項

1. 構内交換機の内側には接続できません。
2. 構内交換機、ファクシミリおよび留守番電話を接続する場合は、火災通報装置の機能に支障を生じるおそれがない接続をしてください。(3ページのシステム構成を参照してください。)
3. 消防機関(119番)への発信、消防機関(119番)からの逆信ができない回線には使用できません。
4. 火災通報装置を接続する回線(IP電話回線アダプタなどのアナログポートを含む)が通報先応答にて極性反転(リバース)しない場合は、一般通報機能を使用できません。(例:公衆電話回線など)
5. 火災通報装置を接続する回線が、通報先応答にて極性反転(リバース)しない通報先は、一般通報機能の通報先に登録できません。
(例:フリーダイヤル[®]などの着信課金サービスへの通報)
※フリーダイヤル[®]は、NTTコミュニケーションズの登録商標です。
6. ISDN回線に接続する場合は、必ずターミナルアダプタTA/T(サクサ(株)製)をご使用ください。
7. ADSL回線に接続する場合、スプリッター分離タイプ(NTTフレッツADSLなど)に接続してください。
スプリッター一体タイプには接続できません。
8. IP電話回線をご使用になる場合は、関係する省令、告示に従い、設置・運用してください。
(下記の「IP電話回線のご利用にあたっての注意事項」を参照してください。)

■ IP電話回線のご利用にあたっての注意事項

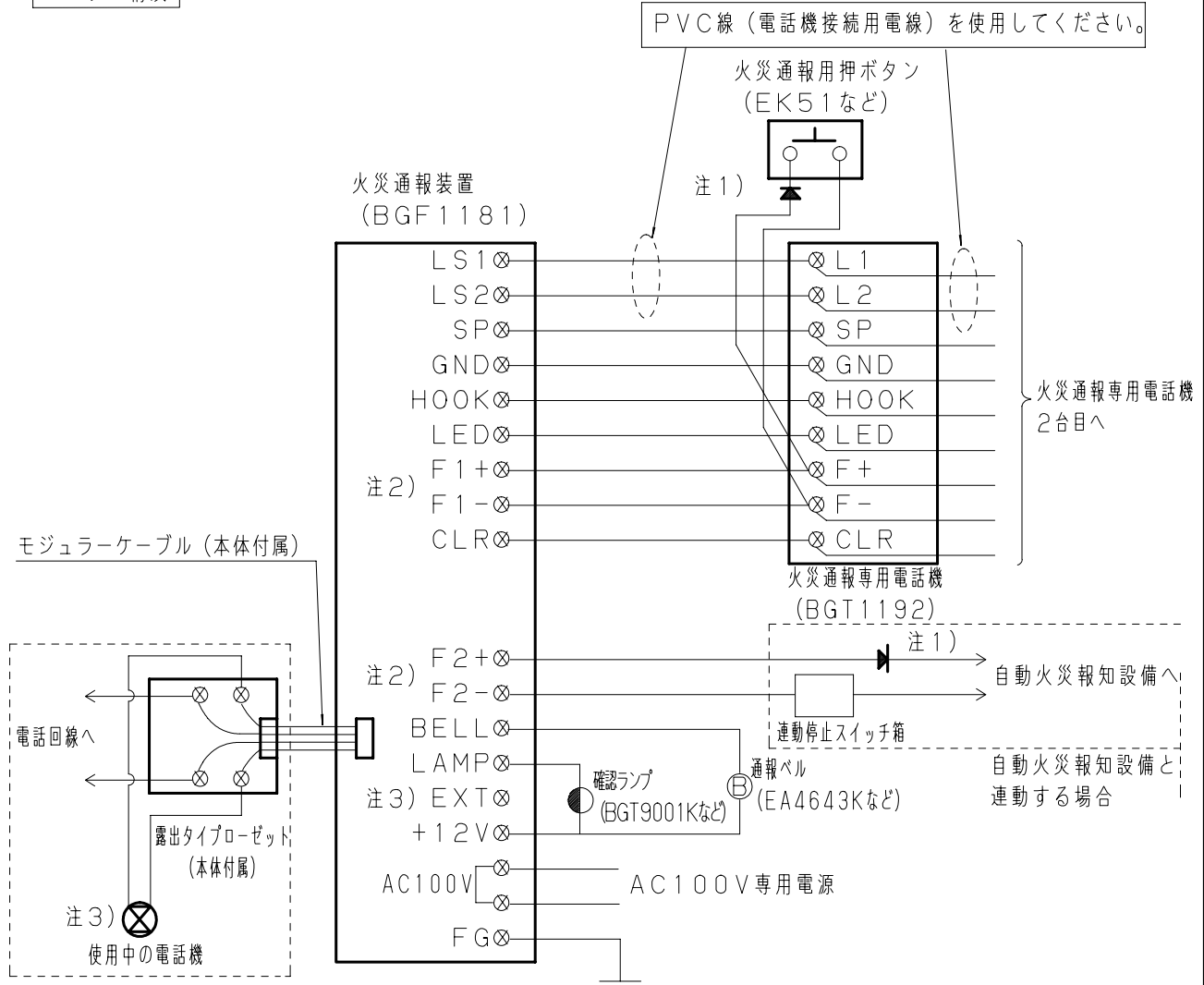
この商品は、インターネットプロトコルを使用した電話回線(IP電話回線)に接続することが認められている火災通報装置です。

火災通報装置をIP電話回線に接続してご使用になる場合は、以下のご確認、ご対応をお願いします。

1. 消防機関(119番)への発信、消防機関(119番)からの逆信ができないIP電話回線には使用できません。
(例:050・・・のIP電話など)
2. 一般電話機やファクシミリなど、同一のIP電話回線に接続する他の機器などが行う通信の影響により、火災通報装置の機能に支障を生じるおそれのない回線契約および接続をしてください。
3. ご使用になるIP電話回線を構成する機器(回線終端装置など)が存在する場合、それらの機器に対しても、火災通報装置と同様の電源の接続方法および同様の動作時間を可能とする予備電源が必要となります。
また、構成する機器が存在しない場合でも、その回線が停電時に使用可能である必要があります。
4. ご使用になるIP電話回線の契約内容、回線終端装置などの設定によっては、消防機関との通話ができない可能性がありますので、詳細につきましては、電話回線の通信事業者へご相談ください。
5. 上記以外にも設置に関する条件がありますので、関係する省令、告示などを確認願います。

商品仕様書図	品名	火災通報装置 (応答確認ランプ付) (音声ロムパック別)			品番	BGF1181 (2/4)
単位: mm 第三角法	作成	2016年 10月 20日	改	5	パナソニック株式会社	

システム構成



注) 露出タイプローゼットに接続する配線は、電話回線からの外線ラインになりますので火災通報装置のその他の配線とは別ケーブルにして下さい。

使用電線径	電話機1台接続	電話機2台接続
0.5mm ² またはφ0.65	150m	100m
0.75mm ² またはφ0.9	200m	150m

- 注1) 短絡監視を行うため、火災通報用押ボタンおよび自動火災報知設備を接続する場合はダイオード (本体に同梱) の取付が必要です。
 (ダイオードが接続されていない場合、119番通報が行えません。)
 (短絡監視機能の初期設定は、「あり (短絡監視を行う)」です。短絡監視機能の設定を「なし (短絡監視を行わない)」に変更する場合は、ダイオードの取付は不要です。)
- 注2) 断線監視を行う場合、4ページの「F1ルート配線/F2ルート配線の断線監視を行うときの配線図」にしたがって接続してください。(断線監視機能の初期設定は、「なし (断線監視を行わない)」です。)
- 注3) EXT端子は、火災通報用押ボタン線あるいは自動火災報知設備との連動入力線の短絡出力 (DC12V, 0.5A) として使用します。
 (断線監視機能の設定を「あり (断線監視を行う)」に変更する場合は、短絡出力及び断線出力として使用します。)
- 注4) 使用中の電話機を火災通報専用電話機として使用する場合は、ジャンパー (JP2, JP3, JP5) を必ずON側にして下さい。この場合、BGT1192は不要です。(BGT1192と併用も可能です。)
- 注5) 構内交換機、ファクシミリ及び留守番電話を接続する場合は、ジャンパー (JP2, JP3, JP5) を必ずOFF側にして下さい。この場合、BGT1192が必要となります。

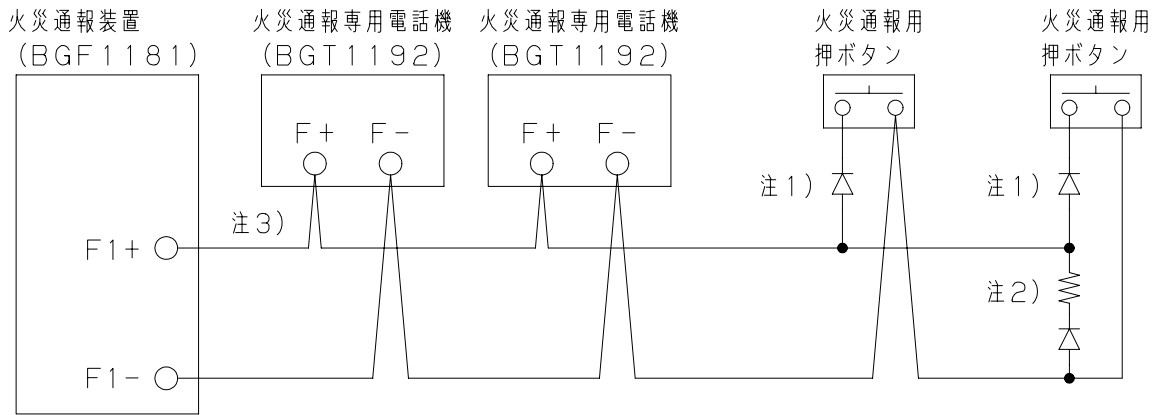
商品仕様書図	品名	火災通報装置 (応答確認ランプ付) (音声ロムパック別)			品番	BGF1181 (3/4)
単位: mm 第三角法	作成	2016年 10月 20日	改	5	パナソニック株式会社	

F1ルート配線/F2ルート配線の断線監視を行うときの配線図

断線監視を行う場合は、「F1ルート断線監視機能」「F2ルート断線監視機能」の設定を「あり（断線監視を行う）」に変更してください。

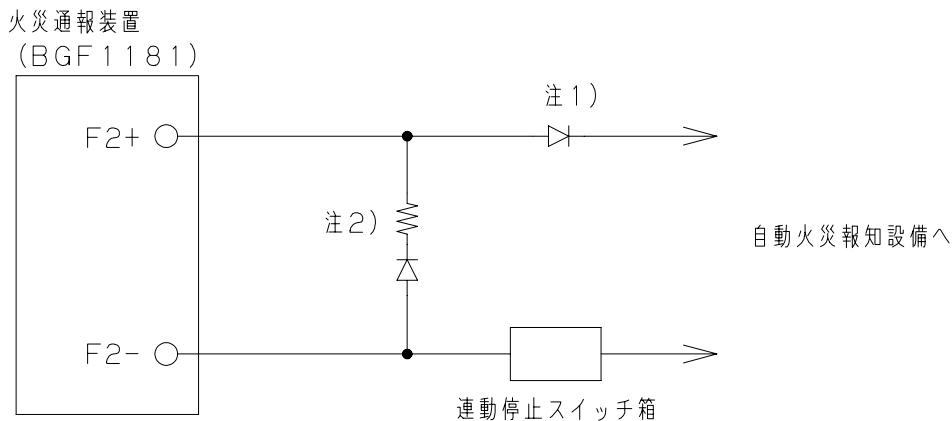
①F1ルート配線（F1+、F1-）の断線監視を行うときの接続方法

- 注1) 短絡監視を行うため、火災通報用押ボタンを増設する場合は、付属のダイオード（600V・1A）の極性に注意して接続してください。ダイオードは圧着スリーブなどで接続し、絶縁処理をしてください。
（ダイオードが接続されていない場合、消防機関（119番）への通報が行えません。）
※短絡監視を行わない場合（「F1ルート短絡監視機能」の設定を「なし（短絡監視を行わない）」に変更する場合は、ダイオードの接続は不要です。
- 注2) 断線監視を行うため、付属の終端抵抗（33kΩ・1/4W）、ダイオード（600V・1A）を直列につないで、火災通報装置から最も遠い個所に接続してください。ダイオードは極性に注意して接続してください。
また、圧着スリーブなどで接続し、絶縁処理をしてください。
- 注3) 断線監視を行うため、火災通報装置と火災通報専用電話機、火災通報専用押ボタンと接続するF1ルート配線（F1+、F1-）は以下のように送り配線にしてください。（専用電話機増設装置を使用する場合、専用電話機増設装置と火災通報専用電話機、火災通報専用押ボタンを接続するF1ルート配線（F1+、F1-）も分岐端子台で分岐せずに、送り配線にして接続してください。）



②F2ルート配線（F2+、F2-）の断線監視を行うときの接続方法

- 注1) 短絡監視を行うため、自動火災報知設備と接続する場合は、付属のダイオード（600V・1A）の極性に注意して接続してください。ダイオードは圧着スリーブなどで接続し、絶縁処理をしてください。
（ダイオードが接続されていない場合、119番通報が行えません。）
※短絡監視を行わない場合（「F2ルート短絡監視機能」の設定を「なし（短絡監視を行わない）」に変更する場合は、ダイオードの接続は不要です。
- 注2) 断線監視を行うため、付属の終端抵抗（33kΩ・1/4W）、ダイオード（600V・1A）を直列につないで、火災通報装置から最も遠い個所に接続してください。ダイオードは極性に注意して接続してください。
また、圧着スリーブなどで接続し、絶縁処理をしてください。
なお、連動スイッチ箱と自動火災報知設備間の配線の断線監視はできません。



商品仕様書図	品名	火災通報装置 (応答確認ランプ付) (音声ロムパック別)			品番	BGF1181 (4/4)
単位：mm 第三角法	作成	2016年 10月 20日	改	5	パナソニック株式会社	